

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

問題番号	Ⅱ-2-地域公共交通
------	------------

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1	調査、検討すべき事項とその内容
(1)	アウトプット指標の評価
	居住誘導区域内外の人口増減率を比較するため、国勢調査やGISデータ等から、人口割合等を算出する。また、都市機能誘導区域内の誘導施設が増加しているか確認するため、立地適正化計画の作成意向等調査から、誘導施設数等を抽出する。これらから、現行計画の誘導状況について調査する。
(2)	アウトカム指標の評価
	公共交通周辺への人口の誘導状況を把握するため、GISにより徒歩圏人口カバー率を算出する。また、災害リスクの高いエリアの人口割合を国勢調査データ等により調査し、追加の防災対策の必要性を検討する。さらに、都市の集約化動向を把握するため、衛星写真等から建物新築状況を調査する。これらから、現行計画の施策が都市に与えている影響を検討する。
2	業務を進める手順と留意点、工夫点
(1)	現行計画の評価と課題の更新
	施策の実施状況や目標値等の達成状況から、既存計画の評価を行う。また、前述の調査結果や上位計画との関係を整理し、現行計画の課題について更新を行う。
(2)	誘導区域の見直し
	誘導区域の見直しを検討する。検討にあたり、アウトプット指標に加えアウトカム指標にも留意する。
(3)	誘導施策の見直し

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

誘導施策を見直す。見直しにあたっては、広域連携の可能性に留意し、関係者への情報提供により連携を促すよう工夫する。

(4) 防災指針の見直し

防災指針の変更案を作成する。地域防災計画等の関連計画との整合性に留意する。浸水位面等の具体的な災害リスクを把握するため、災害ハザード情報は3D都市モデルにより可視化する等の工夫を行う。

(5) 定量的な目標値の見直しと計画期間の設定

現行計画の評価を踏まえ、目標値の見直しを行う。目標値は、居住誘導区域内の人口割合等をKPIとして設定するほか、段階的に評価できるよう工夫する。

(6) 計画案の作成と意見の聴取

見直し検討を踏まえ、改訂版の計画案を作成する。計画案については、都市計画審議会やパブリックコメントから住民や学識経験者の意見を聴取する。

3. 調整方策

(1) 効率的・効果的な業務遂行のための関係者

地域住民、国、都道府県、庁内関係機関、警察、地元企業、交通事業者、観光協会、社会福祉協議会等。

(2) 関係者との連携・調整について

都市再生特別措置法に基づく推進協議会において、利用状況等の客観的なデータに基づき協議を行う。住民に対しては情報提供だけでなく、協議会への参画やWS等を通じて意見交換を行い調整する。以上